

産業競争力強化の視点から見た科学技術基本計画のあり方について

2005年2月23日

3つの基本理念

1. 国際競争力があり持続的発展ができる国
2. 安心・安全で質の高い生活のできる国
3. 知の創造と活用により世界に貢献できる国

【目指すべき経済・社会 5つの姿】

(1) 強みのある製造業を核にした価値創造型「モノ」創り国家の実現

(2) エネルギーの安定供給と省エネ・省資源型の環境立国の実現

(3) 高齢化の下でも、健康長寿で、活力のある社会の実現

(4) 広義の安全保障の確保による安心・安全な社会の実現

(5) 世界の科学技術の発展にリーダーシップを発揮できる国家の実現

政策目標

価値創造型モノ創り国家

日本が強い材料・デバイスのさらなる強化とその組み込みシステム力による競争力の確保

情報通信の活用による産業全般の生産性・利便性向上(ユビキタス社会の実現など)

エネルギーの安定供給 省エネ・省資源型環境立国

3E(安定供給、環境適合、経済性)を同時に解決

アジア地域全体における次世代エネルギー・資源の安全保障の確保

限られた資源・エネルギーからの効率的生産

健康長寿、安心安全 世界の科学技術に貢献

高齢者の元気な活躍

セキュリティの確保

安全・安心な社会インフラ・システムの確保

科学技術の発展へ大きなインパクトを実現

国や産業の持続的発展に向けた重要技術(Critical Technology)

上記の政策目標の実現に向けた重要技術の設定
- 重点4分野を中心に(中長期的な視点を含む) -

総合科学技術会議主導の下、府省連携により、目的基礎・応用・実証研究、人材育成(大学)等を一貫して推進